



平成26年12月18日

シンポジウム「循環共生型社会の実現による地域再生に向けて」 ～地球環境と地方創生への知の貢献～

地方の都市・農山村の再生の必要性が議論されるようになって長い月日が経過していますが、まだその有効な解決策は提示されておらず、地方の衰退の証左は枚挙にいとまがない状態となっています。東日本大震災の後、急速に進んでいる自立分散型エネルギーの導入は、地方を再生する新たな解決策になり得ないか。地域の資源を活用し、資源を循環させ、そこから発生する恵みを大学の知恵も活かしながら、地域の経済・社会に取り込むことはできないか。地域課題の解決の糸口としての低炭素化事業を生みだし、持続的に継続・発展させていくような仕組みづくりができないか。そのためには、自治体、大学等の教育機関、まちづくり関係者等がその叡智を結集することが重要です。例えば、自治体は政策実施主体であると同時に、地域のステークホルダーのコーディネーターともなり得ます。大学は、地域で自立分散型エネルギーを中心とするまちづくりを担う人材の育成、低炭素技術に関する開発・普及といった点で、大きな役割を担っています。

このような背景を踏まえ、本シンポジウムでは、自立分散型エネルギーの導入、地域資源循環の構築による地域再生への貢献の可能性等について事例を交えてとりあげ、学識者や行政の担当者等が今後の展望について意見を交換する貴重な場、未来につながる場として開催いたします。

みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

1. 開催日時：平成27年1月15日（木）13：00～18：00（開場12：00）
2. 開催場所：岡山大学創立五十周年記念館 金光ホール（岡山県岡山市北区津島中1-1-1）
3. プログラム

開会のあいさつ 環境省総合環境政策局長 小林正明
岡山大学理事（研究担当）・副学長 山本進一

学識者からの事例発表

岡山大学大学院環境生命科学研究科長 神崎 浩
岡山大学地域総合研究センター副センター長 三村 聡

自治体等からの事例発表

富山県立山町、岡山県西粟倉村、岡山県津山市、一般財団法人徳島地域エネルギー、イズミヤ株式会社、積水ハウス株式会社

パネルディスカッション「循環共生社会の実現による地域再生のためのステークホルダーの協力等について」（仮題）

コーディネーター：岡山大学上級リサーチ・アドミニストレーター 花岡千草

パネリスト：上記事例発表者等

相談会（グリーンプランパートナーシップ事業関連） 環境省



PRESS RELEASE

4. 対 象 : 定員 400 名程度

学生、学識者、地方公共団体職員、地域づくり・まちづくり団体、民間事業者など、どなたでもご参加できます。

先着順のため、定員になり次第、締め切らせて頂きます。

5. 申込方法 : 添付資料より、1月9日（金）までに FAX か e-mail にてお申込みください。

【シンポジウム事務局 （株）オリエンタルコンサルタンツ 担当：二村、若松】

6. 参加費 : 無 料

7. 主 催 : 環境省総合環境政策局、国立大学法人岡山大学

利用者駐車場がございませんので、公共交通機関を利用してお越しください。

<お問い合わせ先>

岡山大学リサーチ・アドミニストレーター（URA）執務室

佐藤法仁

電話番号 : 086-251-8918

※申込み方法については、上記シンポジウム事務局にお問い合わせください。